

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第164号（4.11.9） 国に対して子供のために保育士配置基準の引上げによる保育士増員を要請する意見書提出を求める陳情
陳 情 の 要 旨	1. 国に対して、子供のために保育士配置基準の引上げによる保育士増員を要請する意見書を提出すること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市中央区 神戸市保育運動連絡会 会長 朝倉 ユミ
送 付 委 員 会	教育こども委員会

2022年11月9日

神戸市会議長

様

神戸市保育運動連絡会  
会長 朝倉ユミ  
神戸市中央区

電話

## 国に「子どものために保育士配置基準の引き上げによる 保育士増員を求める意見書」の提出を求める陳情書

(陳情趣旨)

コロナ禍で保育所の重要性は広く社会に認識されましたが、感染対策を徹底しながら、子どもの発達を保障し、子育て家庭を支えるには、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士増員が急務となっています。

小学校では、コロナ禍を受けて全学年での少人数学級化が順次実施されており、2021年度『学校基本調査』によれば、公立小学校の学級あたりの平均児童数はすでに22.7人になっています。一方で、小学生よりも幼い乳幼児が長時間生活する保育所等の4・5歳児の配置基準(子ども30人に保育士1人)が、基準制定以来70年以上一度も見直されていないことは、深刻な事態と言わざるを得ません。

国は2023年4月に「こども家庭庁」を創設して、これまで以上に子ども関連施策の充実・推進をめざし、予算も倍増するとしています。それならば、いまこそ保育関係予算を大幅に増やし、保育士配置基準の引き上げによる保育士増員、処遇の改善を国の責任ですすめるべきです。

つきましては、神戸市会より、国に対して以下のことを実行していただけるよう、陳情します。

(陳情項目)

1. 国に対して「子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書」を提出してください。